

2022年度版

H E S

環境マネジメントシステム

環 境 報 告 書

株式会社 イーアンドエム

低公害形建設機械の導入割合

選別施設用タイヤショベル	H, 25, 12	H, 20規制適合車
圧縮機用クランプリフト	H, 26, 3	H, 26規制適合車
ホッパー投入用バケットリフト	H, 27, 11	//
圧縮機及び破碎機投入用バケットリフト	H, 29, 9	//
運搬用回転フォークリフト	H, 30, 12	//

規制適合車導入割合は、82.8%

排出ガス対策・・・・・・・・空吹かし・急発進・急停止の禁止

アイドリングストップの励行（夏期5分 冬樹15分）

未使用時のエンジン停止の励行

低騒音・低振動対策・・・・工業専用地域のため、騒音・振動の規制はないが、走行速度厳守（構内・工場内）

作業内容に応じた効率の良い作業を実施

環境に関する基本方針

〈 基本理念 〉

株式会社イーアンドエムは、事業運営と地球環境の保全を両立し、住み良い北海道の地域社会を実現するために、全組織を挙げて環境改善活動に取り組みます。

〈 方 針 〉

株式会社イーアンドエムは、ビン・缶・ペットボトル・古紙の回収、加工、販売及び産業廃棄物の収集、運搬、処分並びにそれに関するサービスの提供により発生する環境影響を低減するために、次の方針に基づき、環境改善活動を推進します。

1. 当社の活動、製品及びサービスが関わる環境への影響を常に認識し、全事業所において環境マネジメントシステムを継続的に改善し、汚染の予防にも努めます。
2. 環境に関連する法的及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスが関わる環境影響要因のうち、以下の項目を環境改善活動の重点テーマとして取り組みます。

- (1)回収数量と自動車軽油燃料の消費効率向上
- (2)構内外の美化促進
- (3)回収数量処分と電気の使用量効率向上
- (4)産業廃棄物処分業取得によるリサイクル率の向上（要データ収集）
- (5)スーパーソル(廃ガラスからのリサイクル材)製造に伴うA重油の使用量
- (6)ガソリン・灯油・水道の使用量

※事務用紙使用削減については、維持管理とする。

4. この環境に関する基本方針は、全従業員が理解し、行動出来るよう周知徹底するとともに社外にも公表します。

この環境に関する基本方針を達成するために、環境目的・目標を設定し、当社の全従業員をあげて環境改善活動を展開するとともに、定期的に見直しを実施します。

2007年 3月29日 制定

2022年12月26日 改定

2014年12月30日 改定

2016年12月30日 改定



2017年11月 1日 改定

2020年12月28日 改定

2021年 9月14日 改定

2021年12月27日 改定

株式会社 イーアンドエム
代表取締役 橋本 晃一

承認	作成
	
2022年12月29日	2022年12月26日

環境目標一覧表

項目	2020年度	年度目標			環境目標
		2021年度	2022年度	2023年度	
自動車軽油使用量と回収量との消費率削減 ℓ/㎡ 【責任者】 追出町	実績値 0.93ℓ/㎡ 2021年度もデータ収集	データ収集 0.92ℓ/㎡ アイドリングストップ 急発進・急停止の禁止 効率の良い回収作業・走行	2021年度から1%削減 ℓ/㎡ アイドリングストップ 急発進・急停止の禁止 効率の良い回収作業・走行	2022年度から1%削減 ℓ/㎡ アイドリングストップ 急発進・急停止の禁止 効率の良い回収作業・走行	2023年度までに2%削減する
事務紙使用削減 【責任者】 鈴木	実績値 63,331枚/年	基準年度から2%削減 61,817枚/年 裏面使用の促進 ペーパーレス化の推進	 裏面使用の促進 ペーパーレス化の推進	 裏面使用の促進 ペーパーレス化の推進	事務紙削減は2022年度から環境目標から維持管理とする
電気使用量と処理量との消費率削減 kw/㎡ 【責任者】 澤田	実績値 3.59kw/㎡ 2021年度もデータ収集	データ収集 4.33kw/㎡ 使用しない電気の消灯	2021年度から1%削減 kw/㎡ 使用しない電気の消灯	2022年度から1%削減 kw/㎡ 使用しない電気の消灯	2023年度までに2%削減する
スーパーソル製造量とA重油使用量 【責任者】 澤田	2020年実績値なし 2019年実績値を基準とする 23.62ℓ/㎡ 2021年度もデータ収集	データ収集 25.11ℓ/㎡ 効率化・ロスを無くし使用量減	2021年度から1%削減 ℓ/㎡ 効率化・ロスを無くし使用量減	2022年度から1%削減 ℓ/㎡ 効率化・ロスを無くし使用量減	2023年度までに2%削減する
構内外の美化促進 【責任者】 南	月4回の構内外の清掃 定期的な清掃 ゴミ拾い	月4回の構内外の清掃 定期的な清掃 ゴミ拾い	月4回の構内外の清掃 定期的な清掃 ゴミ拾い	月4回の構内外の清掃 定期的な清掃 ゴミ拾い	定期的な清掃作業だけではなく常時美化に心掛けゴミ拾い等実践する

環境目標一覧表

項目	2020年度	年度目標			環境目標
		2021年度	2022年度	2023年度	
産業廃棄物の中間処理排出量のリサイクル率の算出 リサイクルkg/排出量kg	排出量2,013,449kg R量1,302,259kg 実績値 64.70%	データ収集 78.50%	2021年度から 1%向上 %	2022年度から 1%向上 %	固形燃料・火力発電所燃料と合わせ、セメント原料としてのリサイクル率向上を図る
【責任者】 澤田	2021年度もデータ収集	選別作業の効率化 処分量の削減	選別作業の効率化 処分量の削減	選別作業の効率化 処分量の削減	
自動車ガソリン燃料の消費効率向上	データ収集年 9165.330	増員につきもう1年間データ収集 9516.770	2021年度から 1%削減 0	2022年度から 1%削減 0	2023年度までに 2%削減する
【責任者】 川崎		アイドリングストップ 急発進・急停止の禁止	アイドリングストップ 急発進・急停止の禁止	アイドリングストップ 急発進・急停止の禁止	
灯油の使用量	データ収集年 2019年9046.70 2020年8278.90 2年間平均8662.80	基準年度から 6%増 9,1890	2021年度から 1%削減 0	2022年度から 1%削減 0	2023年度までに 2%削減する
【責任者】 澤田		使用しないストーブ等の消火	使用しないストーブ等の消火	使用しないストーブ等の消火	
水道の使用量	データ収集年 5,3590	水交換回数増によりもう1年間データ収集 5,3730	2021年度から 1%削減 0	2022年度から 1%削減 0	2023年度までに 2%削減する
【責任者】 澤田					
【責任者】					

②

環境目標計画書兼進捗管理表

2021年度 (2021年12月 ~ 2022年11月)

NO	目標項目	施策(日程)項目	適合性評価												実施責任者		
			12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月			
4	製造量・A重油 スーパースル(摩ガラ) スからのリサイクル材) 製造に伴うA重油の使 用量の把握	効率化・ロスを無くし使 用量削減 2019年実績値 23.380/袋	月別	製造量	0	0	0	30	386	433	433	436	562	477	399	430	澤田 達成率 100%以上
			別	使用量	0	0	0	776.62	8778.02	9553.9	9878.5	9070.4	15311.8	12843.8	12080.6	11253.7	
			累計	製造量	0	0	0	0	396	829	1262	1698	2260	2737	3136	3566	
			使用量	0	0	0	0	9554.64	19108.5	28987	38057.5	53369.2	66213	78293.6	89547.3	26.2	
			適合性評価	89547.30 ÷ 3566袋 = 25.110/袋 CO2排出量=24.27t-co2/0													
5	目標内容 ガソリン 基準値把握のための データ収集	施策(日程)項目 燃費向上の励行 急発進・急停止禁止 CO2排出量 2.21t-co2/0	前年実績値	751.3	735.08	733.46	865.93	691.23	740.03	771.22	989.31	860.65	734.11	733.49	859.52	澤田 達成率 100%以上	
			月別実績値	917.41	878.21	776.97	857.06	612.83	782.46	749.86	750.41	855.97	799.84	747.10	788.65		
			前年実績値	751.3	1486.38	2219.84	3085.77	3777.0	4517.03	5288.25	6277.56	7138.21	7872.32	8605.81	9465.33		
			累計実績値	917.41	1795.62	2572.59	3429.65	4042.48	4824.94	5574.8	6325.21	7181.18	7981.02	8728.12	9516.77		109.0
			適合性評価	857.530/3ヶ月 754.160/6ヶ月 770.690/9ヶ月 793.060/12ヶ月													
6	目標項目 灯油使用量 基準年度から1%削減	施策(日程)項目 使用しない灯油ストー ブ(ジェットヒーター等) の消火 CO2排出量 2.29t-co2/0	月別目標値	1,866	1,881	2,536	1,590	454	0	0	0	0	0	0	249	澤田 達成率 100%以上	
			月別実績値	1,418	2,723	2,434	1,984	501.1	128.5	0	0	0	0	0	0		
			累計目標値	1,866	3,747	6,283	7,873	8,327	8,327	8,327	8,327	8,327	8,327	8,327	8,327		8,576
			累計実績値	1,418	4,141	6,575	8,559	9,060	9,189	9,189	9,189	9,189	9,189	9,189	9,189		9,189
			適合性評価	131.6 69.1 104.2 80.1 90.6 0.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0													
環境管理責任者の確認及び 改善対策内容等			工場機械入替え作業及び大雪による影響で使 用量増となる。入替え作業は1月・4月に集中し たことで、ジェットヒーター等による使用量が増														

※改善対策は、2月、5月、8月、11月の適合評価で、累計実績値が不適合だった場合に実施。

③

環境目標計画書兼進捗管理表

2021年度（2021年12月～2022年11月）

NO	目標項目	施策(日程)項目	適合性評価												実施責任者	
			12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
7	水道使用量 基準値把握のための データ収集	水槽等水交換回数 の工夫により使用量削減	前年実績値	411.5	411.5	460	460	468	468	448.5	448.5	448.5	443.0	443.0	澤田	
			月別実績値	453	453	380.5	380.5	410	410	450.5	450.5	525.5	525.5	467.0		467.0
			前年実績値	411.5	823	1283	1743	2211	2679	3127.5	3576	4024.5	4473	4916		5359
			累計実績値	453	906	1286.5	1667	2077	2487	2937.5	3388	3913.5	4439	4906		5373
			達成率	90.8	90.8	120.9	120.9	114.1	114.1	99.6	99.6	85.3	85.3	94.9		94.9
			適合性評価 428,830/3ヶ月 414,500/6ヶ月 434,830/9ヶ月 447,750/12ヶ月												実施責任者	
NO	目標項目	施策(日程)項目	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
8	産業廃棄物の中間処 理排出量のリサイクル 率の算出 データ収集	2020年度排出量 2,013,449kg リサイクル量 1,302,759kg リサイクル率 64.70%	月別目標値	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	澤田	
			排出実績値	246,905	150,600	181,827	231,833	133,253	190,090	179,980	177,661	170,483	155,244	154,988		166,832
			R量実績値	189,971	132,375	134,128	183,390	98,984	133,458	127,745	137,658	144,316	128,295	137,040		132,074
			リサイクル率	76.9	87.9	73.8	79.1	74.3	70.2	71.0	77.5	84.7	82.6	88.4		79.2
			達成率	115.4	131.8	110.6	118.6	111.4	105.3	106.4	116.2	126.9	123.9	132.6		118.7
			適合性評価 1,679,434kg ÷ 2,139,696kg = 78.5%												実施責任者	
NO	目標項目	施策(日程)項目	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
環境管理責任者の確認及び 改善対策内容等			月別目標値												実施責任者	
			月別実績値													
			累計目標値													
			累計実績値													
			達成率													
			適合性評価													
ペットボトル破碎後、比重分離水槽の水交換回数を週2回から3回に増やしたことで、水道使用量増。 ペットボトル製品品質向上には、水交換回数増は不可欠なため、次年度目標数値の参考とする。																

※改善対策は、2月、5月、8月、11月の適合評価で、累計実績値が不適合だった場合に実施。

